

クラブの活動を新聞社（メディア）に発信しよう

ネタ（話題）をつくり、粘り強く

新聞社が記事にしてくれそうな「ネタ」を作りましょう！（考えましょう）。

「ネタ」とは読者が「見たい」と思う内容で、ニュース性があればOK！（下記参考）

新聞社に発信する時は、**ネタの要点を簡潔にまとめ**ましょう。発信の仕方に特別なテクニックはありません。**懸命に伝えようとする気持ちは必ず伝わりますよ！**

せっかく発信したのに、「記事にならない」「何の連絡もない」ことはよくあること。**めげずに繰り返し発信**することで、いつか必ず記事になると信じましょう！

メディア発信が初めて——というあなた。

不安はあるでしょうが、**当たって砕けろ。とにかく発信**です。新聞社訪問は理想ですが、メールでもFAXでも大丈夫です。

記事になる確率はローカル紙ほど高く、**馴染みの記者がいれば確率はアップ**しますよ。地方の新聞記者を会員に誘い効果を上げているクラブもあります（裏ワザ？）。

メディアが興味を示す「ネタ」とは ＜初めて・最初・初物＞

新聞社は「初物」に興味を示します。**初物は話題性がある**からです。初めて取り組む事業はぜひ新聞社に売り込んでくださいね！

例えば、「わが町で初めて開くヨガ教室」「Jリーガーなど著名人を初めて招いて開くスポーツ教室」「ヤングママが喜ぶ初めての託児付き運動教室」など話題性十分です。

クラブが初めて行うアンケートや、県内ではわがマチが最初に取り組む新種のスポーツ教室なども立派なネタになります。

＜意外性＞

地域のスポーツクラブなのに「そんなこともやるの？」と思わせる取り組みは、立派なネタですよ！

クラブ会員を対象にした農業体験（ふるさと学習、担い手対策）、清掃奉仕（環境美化）、夏祭り企画（地域イベント）などは**「地域密着型」の話題**になります。

子どもたちの学力向上や体験機会の提供を目的にした珠算塾開講、絵本の読み聞かせ、議会傍聴（社会見学）などは、**親の興味を誘います**。

世間の動きやタイムリーな話題と絡めると効果的です。婚活支援、就労支援、被災地ボランティアなどは、ネタとしては一級品！

＜最多・最高・最長＞

「多い」「高い」「長い」もネタになります。参加者が最多。ギネスに挑戦。マラソンの距離や活動時間が長い。他よりちょっと抜kindでた特徴も話題になります。

＜節目＞

「創立〇周年」「結成記念大会」など、節目の事業や出来事はネタになります。

＜キャッチコピー＞

新聞社にネタを売り込む時、**キャッチコピーがあれば注目度は高まります**。

例えば、対象者を女性に限定し、夕食片付け後のスポーツ体験会を開く時、「8 時だよ！女性集合」というフレーズは受けそう！ 遊び心が大切ですね。

子どもスポーツ教室の参加者を募集する時、「さまざまなスポーツに挑戦しよう」というより、「なんでも挑戦 子どもスポーツ体験塾」と“塾”の文字を入れることで、親の興味・関心がグンと増します。

「地域の課題解決に役立つ取り組み」はネタになりやすい

地域の課題解決に役立つ事業は、スポーツ基本法の理念にも合致して行政とも連携しやすく、役所には新聞記者が出入りしていますから、発信しやすいネタになります。

＜コラボ事業＞

行政とのコラボ事業は、いろいろあります。連携の中身は、**①健康推進、②介護保険事業のサポート、③疾病予防、④子どもの体力向上、⑤特産品販路拡大……**など様々。連携する相手は、**健康、福祉、病院、観光などの行政機関と学校**になります。

このほか、**町内会活動、地域イベント、文化事業、コンサート、発表会、地産地消、国際交流などの取り組みや催しに主催、協賛、後援**などでかかると、相互信頼が増し、クラブの認知度向上に効果を発揮するでしょう。

そうした事業は、成果があがれば新聞記事として複数回取り上げてくれる可能性が大きく、うまくいけば、クラブの受託事業になる可能性を秘めています。

ニュースリリース（情報提供・取材依頼）の手法

新聞社などへの記事掲載（または取材）依頼文は、「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうする」「なぜ？」「いくら？」(5W2H)に加え、事業の「特徴」「個性」「セールスポイント」を簡潔にまとめましょう。箇条書きでもOKです！

あらかじめ「5W2H」を入れたシートを作っておくと便利です。

自慢話は嫌われますので、「やってあげている」「すごいだろう」といったニュアンスが感じられる依頼文は記事として扱われる可能性が低くなります。ご注意ください！

発信方法はFAXやメールで大丈夫です（新聞社などに直接出向くと誠意が伝わります）。

新聞社などの電話・FAX番号、メールアドレスは登録しておくことで発信が容易です。

【ニュースリリース例】

平成〇〇年 〇月 〇日

〇×△新聞社〇〇支局 御中

〇〇〇スポーツクラブ「△□□△」
クラブマネージャー 〇△〇〇

アンチエイジング・ヨガ教室の報道依頼

標記の件、下記のとおり開催いたします。記事掲載していただきたく、お願い申し上げます。

記

事業名	アンチエイジング・ヨガ教室
目的	〇〇県の補助事業として健康長寿型対応サービス創出事業に取り組みます。 - 住民の健康と豊かな暮らしを支援、生活習慣病予防などに役立ててもらおうと企画。第一弾として標記ヨガ教室を開きます。
特徴	- 働く女性や夕食準備後にゆとり時間の生まれる女性のニーズに応えます。 2年前「8時だよ！女性集合」と銘打って開いた「ヨガと軽スポーツ体験会」が好評だったことがきっかけになりました。 - スポーツセンターでは昼間のヨガ教室は定期開催しておりますが、夜間の定期開催は初めてです。 △△病院と連携し、希望者には体脂肪、血圧、血糖値の測定を行います。
主催	〇〇〇スポーツクラブ「△□□△」
日程	平成〇〇年〇月〇日(月)20時00分～21時00分
会場	〇〇市スポーツセンター
対象	アンチエイジングに興味のある女性 健康や運動に関心のある女性
講師	〇〇〇フィットネスクラブ インストラクター 〇〇〇〇さま
受講料	1人 1,000円(保険料含む)
問合せ先	〇〇市スポーツセンター内 〇〇スポーツクラブ事務局 (名前) 電話 12-3456番 FAX 78-9101番

見出し例

どんなネタが記事になるのか、各地の新聞に取り上げられた「総合型地域スポーツクラブ」の記事の見出しを以下に添付しましたので参考にしてくださいね！

主の見出し	脇の見出し(サブタイトル)
・ 12 時間続けバドミントン	・ 自己ベスト目指し小学生が
・ 脳と体鍛える「ながら運動」	・ 健康スポーツ祭
・ ユニーク競技に挑戦	・ 輪ゴムリレー、むかでリレー
・ 広がる総合型クラブ	・ 地域振興、スポーツ環境向上
・ 親子一緒に「動きづくり」	・ パパ、ママの体は遊び場
・ ウォーキングのすすめ	・ 仲間と楽しく健康に
・ ケガの予防など学ぶ	・ 専門家招きスポーツ講演
・ 地域クラブ設立	・ 8 種目、〇日に体験会
・ 主婦ら 52 人 壮快に汗	・ 夕食片づけ後は「8 時だよ！女性集合」
・ お年寄り招き体力測定	・ 学んだ成果で地域貢献
・ 生活習慣病 運動こそ薬	・ 中高年女性向け講座
・ 元五輪選手 陸上の楽しさ学ぶ	・ (なし)
・ 速く走る方法学ぶ	・ かけっこ塾
・ 歩いて実感 歴史や健康	・ 〇〇クラブが大遠足
・ NPOの活動理解深めて	・ 体験やパネル展
・ 情報交換へ連絡協設立	・ 総合型クラブ ノウハウ共有へ
・ ダブルダッチに挑戦	・ プロの指導受ける
・ しめ縄づくり四苦八苦	・ 子どもら高齢者から学ぶ
・ ファイトー発キンボール	・ 9 チームが熱戦
・ 雄大な景色満喫	・ 〇〇クラブ 市民登山会
・ てくてくお寺巡り	・ ウォーキングクラブ開講
・ イグルーづくり 北国の冬体験	・ ジュニアクラブ 雪まみれ
・ 滑らず安心 冬場の運動	・ 室内ウォーキング好評

伊端隆康 NPO 法人留萌体育協会 専務理事・事務局長